

施策番号	1601	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	すべての人の基本的人権が尊重され、男女が対等な立場で協力し合えるようにします	日常生活の中で差別があると感じていない区民の割合	%	目標	65.0	65.4	65.8
				実績	64.7	68.8	60.2
		男女の共同参画が進んでいると思う区民の割合	%	目標	37.1	37.4	37.7
				実績	40.4	41.5	33.6
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）応援事業	人権推進課	◎	1020
	計画	男性の家庭生活への参画支援事業	人権推進課	◎	1022
	計画	配偶者暴力防止事業	人権推進課	◎	1024
		各種講座（人権・男女平等）	人権推進課	◎	1026
		相談事業（女性の自立支援等）	人権推進課	◎	1028
		男女平等推進センター等維持管理	人権推進課	◎	1030
		パルフェスタ	人権推進課	◎	1032
		人権・男女平等啓発情報発信事業	人権推進課	○	1034
		男女平等推進審議会等運営	人権推進課	○	1035
		男女平等推進センター図書資料室運営	人権推進課	○	1036
		部落解放同盟東京都連合会葛飾支部助成	人権推進課	○	1037
		女性相談	東生活課	○	1038

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）応援事業					担当部	総務部		関係課	—
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成18年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(10)
事務事業目的	男女共にあらゆる世代において一人一人が望む「仕事」と「仕事以外の生活（子育てや親の介護、自己啓発、地域活動など）」を大切にしたい暮らしを選択できるようワーク・ライフ・バランスの推進を図る。									
実施内容	<p>【概要】 イベントや講座等により、ワーク・ライフ・バランス（WLB）に関する情報提供や意識啓発を行うとともに、企業におけるWLBの取組を支援する。</p> <p>【活動内容】（令和2年度実施）</p> <p>①ワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー派遣事業 仕事と生活の調和の推進に取り組む区内の中小企業等に対して、専門知識を持った社会保険労務士をアドバイザーとして派遣する。</p> <p>②産業フェアへの出展 パネル展示やWLB啓発活動等を実施 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため出展は中止となったので、パルフェスタでWLBに関するパネル展示や啓発を行った。</p> <p>③WLBに関する講座・講演会 3回実施 ・「がんばりすぎない働く人の介護」 ・「ドイツ流の食卓術に学ぶ、共働き家庭にゆとりをもたらすヒント」 ・「パートタイム労働者の人材確保と定着化のポイント ～厳しい状況を乗り越えるために～」</p> <p>④啓発情報誌「LooP」の発行 5,600部</p> <p>【過去の改善実績】 ①の「ワーク・ライフ・バランス支援アドバイザー派遣事業」は前身の「中小企業のための仕事と生活の調和応援事業助成金」の実施終了に伴い25年度より新たに創設した。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	企業対象講座・講演会のアンケートでの満足度	受講者アンケート	%	目標	97.0	98.0	98.0
				実績	98.4	100.0	77.0
成果	WLBに取り組んでいる区民の割合	葛飾区政策・施策マーケティング調査	%	目標	40.6	40.8	41.0
				実績	46.6	49.9	46.8
活動	WLBに取り組む企業への支援	—	企業	目標	6	6	6
				実績	1	5	1
活動	WLB啓発イベント参加者数	—	人	目標	1,200	1,200	1,200
				実績	2,484	1,655	570
活動	WLBに関する講座・講演会（区民・企業対象）	—	回	目標	3	3	3
				実績	3	3	3
活動	WLBに関する啓発情報誌の発行	—	部	目標	5,600	5,600	5,600
				実績	5,600	5,600	5,600

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	150	150	154
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	3,304	3,736	3,661	
支出	直接事業費 (b)	669	1,050	693	
	職員人件費 (c)	1,580	1,580	1,560	
		業務量 (人)	0.20	0.20	0.20
	間接費 (d)	1,205	1,256	1,562	
	調整額 (e)	200	180	190	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	200	180	190	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,654	4,066	4,005	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	WLB啓発イベント参加者数 (人)		
実績数値 (g)	2,484	1,655	570
単位あたり区単コスト (a/g)	1,330	2,257	6,423
単位あたりコスト (f/g)	1,471	2,457	7,026

実施状況に対する評価	<p>アドバイザー派遣事業では、社会保険労務士と協力し、企業にパンフレットを配布して周知を行った。また、介護保険課を通じて介護サービス事業者への周知を行ったが、1件の企業への支援にとどまった。</p> <p>3回実施したWLBに関する講座・講演会では、広報かつしかやHPだけでなく、区の公式フェイスブックやツイッターに投稿する等、幅広い周知に努めた。</p> <p>WLBに関する講座・講演会では、仕事と介護の両立のコツを具体的に学んだり、自身の生活時間、家事の役割分担について考えることにつながった。初めてオンラインで講師が会場に向け行った講座については、講師の声が聞き取りにくかったことなどから満足度が低い結果となった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>アドバイザー派遣事業については、企業への支援数が伸び悩んでいることから、より企業に活用してもらえるよう、社会保険労務士と協力し、区内企業に広く事業を周知するとともに、啓発情報誌の発行による情報提供や啓発を行っていく。</p> <p>WLBに関する講座・講演会については、昨年度のアンケート結果及び実施状況を踏まえ、より区民に関心のあるテーマを取り上げ、WLBの意識を高めていくよう、広報かつしかやホームページ等を活用して、周知していく。</p> <p>また、産業フェアでは、感染症対策を行い、来場者に対してWLBへの興味関心を高めることができるよう、啓発の内容等について工夫していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	男性の家庭生活への参画支援事業					担当部	総務部		関係課	—
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成28年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(11)
事務事業目的	家事・育児・介護などの多くを女性が担っている現状を踏まえ、男性が女性と協力してこれらを担えるように、必要な知識とノウハウを取得することを目的とした講座・講演会を実施する。									
実施内容	<p>【概要】 男性の家事・育児・介護への参画が進むために必要な知識とノウハウを得るための機会を提供する。</p> <p>【活動内容】 必要な知識とノウハウを取得するための講座・講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパといっしょに絵本ライブ～家族みんなでニコニコしよう！ ・映画「わたしのヒーロー」上映 ・講座～パパの「働く」と「育てる」（映画「わたしのヒーロー」上映と同時開催） ・講座「パパに贈る食育とレシピ～家族のために愛情こめて～」 									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	男性の家事・育児・介護参画促進講座・講演会のアンケートでの満足度	受講者アンケート	%	目標	98.6	100.0	100.0
				実績	100.0	100.0	93.68
活動	講座・講演会の参加者数(延べ)	—	人	目標	120	90	76
				実績	81	86	116
活動	男性の家事・育児・介護参画促進講座・講演会	—	回	目標	4	4	4
				実績	4	4	4
活動	男性の家庭生活参画に関する情報誌等の発行	—	部	目標	4,000	4,000	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	9	7	0
	一般財源 (a)	2,816	2,871	3,021	
支出	直接事業費 (b)	147	171	160	
	職員人件費 (c)	1,975	1,975	1,950	
		業務量（人）	0.25	0.25	0.25
	間接費 (d)	703	732	911	
	調整額 (e)	250	225	238	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	250	225	238	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	3,075	3,103	3,259	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（講座・講演会）（人）		
実績数値 (g)	81	86	116
単位あたり区単コスト (a/g)	34,768	33,388	26,043
単位あたりコスト (f/g)	37,965	36,086	28,095

実施状況に対する評価	<p>「パパといっしょに絵本ライブ」では、家族みんなで身体を動かして歌ったことや、父親である講師の経験を織り交ぜたパパ向けトークが好評であった。父親と子どもと一緒に楽しめる機会を設けることで、父親の育児参加への意識を高めることができた。</p> <p>映画「わたしのヒーロー」の上映、講義では、育休中の男性が置かれている状況や葛藤に多くの参加者の共感を得ていた。また、映画の具体的な事例を踏まえた講義であり理解しやすかったという評価を得た。</p> <p>「パパに贈る食育とレシピ～家族のために愛情こめて～」では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調理実習ができなかったが、参加者からの質疑応答を行う参加型の講座だったことから理解が深まり、「家族のための料理」をつくる楽しさを知ってもらうことができた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>夫婦やカップル、親子などでの参加、または他の講座と合同で開催するなど、男性が講座に参加しやすい環境をつくることで、多くの男性に参加してもらえるよう今後もアンケート等をもとにニーズを的確にとらえ、講座・講演会を企画していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調理実習ができなかったことで、応募者数が減少したと考えられる。</p>

事務事業評価表

事務事業名	配偶者暴力防止事業						担当部	総務部	関係課	—
							担当課	人権推進課		
開始年度	平成14年度						個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）		
根拠法令	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(7)
事務事業目的	DV被害者が早期に相談し、安全が確保され、自立して生活が営めるよう適切な支援を行う。									
実施内容	<p>【概要】 「配偶者暴力の防止及び被害者保護のための計画」に基づき、各種事業を実施</p> <p>【活動内容】（令和2年度実施）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 配偶者暴力相談支援センター業務（平成26年4月～） ② DV相談…毎週月・木曜日 午前10時～午後5時 ③ 啓発講座等の実施（年4回） ④ DV関係機関連絡会の運営（年2回） ⑤ ばるかふえの運営（年1回※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ⑥ デートDV防止啓発パンフレット「マンガで知ろうデートDV」作成・配布（3,000部） ⑦ DV予防啓発冊子「ひとりで悩まないで～DVハンドブック～」配布 ⑧ 相談窓口周知用のクリアファイルの配布 ⑨ 相談窓口周知用のメモ帳の配布 ⑩ 「女性に対する暴力をなくす運動」期間（毎年11月）における啓発活動 ⑪ 一時保育 DV相談中の一時保育（要予約） 									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	相談窓口が行政にあることを知っている区民の割合	葛飾区政策・施策マーケティング調査	%	目標	47.1	47.8	50.0
				実績	46.4	55.9	51.6
活動	DV相談件数	—	件	目標	532	550	550
				実績	422	498	626
活動	パンフレット等作成・配布	—	部	目標	1,000	1,000	1,000
				実績	1,000	1,000	3,000
活動	講座・講演会等	—	回	目標	4	4	4
				実績	3	4	4
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定財源	国庫支出金	49	613	0
		都道府県支出金	0	0	233
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	5,745	5,567	6,089	
支出	直接事業費 (b)	3,209	3,554	3,461	
	職員人件費 (c)	1,580	1,580	1,560	
		業務量（人）	0.20	0.20	0.20
	間接費 (d)	1,005	1,046	1,301	
	調整額 (e)	200	180	190	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	200	180	190	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	5,994	6,360	6,512	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	DV相談件数（件）		
実績数値 (g)	422	498	626
単位あたり区単コスト (a/g)	13,614	11,179	9,727
単位あたりコスト (f/g)	14,204	12,771	10,403

実施状況に対する評価	<p>令和2年度のDV相談件数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり増加している。窓口の周知を図りつつ、相談件数及び相談内容の状況を見極め、区民ニーズを注視する必要がある。</p> <p>11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間における啓発活動では、パープルリボンツリーの設置や暴力について考えるパネル展示、パネルの上部にパープルライトのイルミネーションを装飾した。例年、パープルリボンを作成するコーナーを設置しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、作成キットの配布を行った。アンケートから今回の催しで理解が深まったという意見が多かった。</p> <p>また、DVに関する講座及び研修については合計4回開催し、対象者を若年層から区職員まで幅広くした。その結果、DVに関する意識を高めることができ、アンケートからも満足度が高いことがうかがえた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>DV相談は、コロナ禍により、増加していることから、適切な相談対応に取り組んでいく必要がある。また、若年層への啓発については、中学生や高校生が関心を持てる講座を考案し、啓発活動を継続していく。</p> <p>今後も「配偶者暴力の防止及び被害者保護のための計画」に基づき、着実に各種事業を実施するとともに、引き続きDV相談窓口を通じて、配偶者等による暴力の防止及び被害者保護と支援の取組みを継続していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	各種講座（人権・男女平等）					担当部	総務部	関係課	—	
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成元年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(3)
事務事業目的	<p>人権や男女平等についての理解が深まり、一人一人が人権を尊重するとともに、男女共同参画の視点に基づいて自分らしく生きる能力や地域社会に貢献する能力を高める。</p>									
実施内容	<p>【概要】 様々な人権課題について正しい知識を啓発するための講座・講演会を実施する。</p> <p>【活動内容】 ①男女平等の意識を高めるための講座・講演 家庭・地域・職場など日々の暮らしの中にある性差別への気づきを促すとともに、男女の能力開発・向上を図るための学習機会を提供する。 ②人権問題についての講座・講演会 区民の日常生活に横たわる各種人権課題についての認識を深めるとともに、互いの基本的な人権を尊重する意識を醸成する機会を提供する。 広報かつしか、講座開催周知用チラシ、区ホームページ、ポスター（区内掲示板・施設に掲出）、FMかつしか等により参加者を募集する。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	満足度	受講者アンケート	%	目標	90	95	95
				実績	95	93	94
活動	参加者数	—	人	目標	1,300	1,300	500
				実績	1,011	646	722
活動	講演会・講座数	—	回	目標	20	20	20
				実績	20	18	16
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	781	467	468
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	9,669	8,587	10,806	
支出	直接事業費 (b)	1,886	1,894	2,075	
	職員人件費 (c)	4,345	2,765	3,510	
		業務量（人）	0.55	0.35	0.45
	間接費 (d)	4,219	4,395	5,689	
	調整額 (e)	550	315	428	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	550	315	428	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	11,000	9,369	11,702	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	延べ参加者数（各種講座）（人）		
実績数値 (g)	1,011	646	722
単位あたり区単コスト (a/g)	9,564	13,292	14,967
単位あたりコスト (f/g)	10,880	14,503	16,208

実施状況に対する評価	<p>この事業は、様々な人権課題に関する普及啓発活動を通して、人権問題や男女平等についての理解を深めることを目的としている。このため、できる限り多くの区民に参加していただけるよう、より新しいテーマの設定と講師の選定を行うことで、集客の期待できる講座を企画してきた。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を制限した講座や実施できない講座があったものの、参加者数は増加している。また、参加者の満足度は実績として9割を超えており、内容については継続して高い評価を得ている。</p>
今後の方向性【継続】	<p>誰もが幸せに暮らせるよう、お互いを思いやり、生活習慣・文化・価値観などの多様性や人権を尊重する社会の実現に向けた機会づくりとして、より多くの区民が参加する魅力ある講座を企画していく。</p> <p>今後とも多くの方が参加できるように開催日時やテーマなどを工夫し、学習の機会及び交流の場の提供を行うことで、日頃、人権について興味や関心のない区民に対して働きかけていく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	相談事業（女性の自立支援等）					担当部	総務部		関係課	—
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成元年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(2)
事務事業目的	女性（一部男性を含む）が抱えるさまざまな悩みや問題の解決・軽減を図るためカウンセラーや弁護士などの専門家による相談を行う。 また、同和問題に関する悩みや問題の解決・軽減を図るため相談を行う。									
実施内容	<p>【概要】 男女平等社会を実現するための男女平等推進センター相談事業と同和問題に関する悩みや問題の解決・軽減を図るための同和相談事業等の実施</p> <p>【活動内容】</p> <p>①悩みごと相談 月・火・木・金曜日 午前10時～午後5時 水曜日 午後1時～8時（5時以降は電話相談のみ・男性も可） 女性問題全般の相談、カウンセリング業者に委託、要予約 一人当たり1時間（相談時間50分）</p> <p>②法律相談 火曜日 午後1時30分～4時30分 要予約、弁護士が対応 一人当たり45分（相談時間40分）</p> <p>③同和相談 通年</p> <p>④性自認・性的指向に関する相談（令和2年10月開始） 毎月1回 土曜日 3時間 事前予約 一人当たり1時間（相談時間50分）</p> <p>⑤一時保育 悩みごと相談、法律相談中の一時保育（要予約）</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
活動	相談件数	各種相談の利用件数	件	目標	1,426	1,409	1,436
				実績	1,293	1,262	1,392
活動	悩みごと相談利用件数	利用件数	件	目標	878	878	878
				実績	809	764	879
活動	法律相談利用件数	利用件数	件	目標	122	122	122
				実績	144	135	133
活動	同和相談利用件数	利用件数	件	目標	426	409	436
				実績	340	363	374
活動	性自認・性的指向に関する相談件数	利用件数	件	目標	—	—	18
				実績	—	—	6
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	10,038	9,966	10,351	
支出	直接事業費 (b)	9,248	9,176	9,571	
	職員人件費 (c)	790	790	780	
		業務量（人）	0.10	0.10	0.10
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	100	90	95	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	100	90	95	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	10,138	10,056	10,446	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	各種相談利用件数（件）		
実績数値 (g)	1,293	1,262	1,392
単位あたり区単コスト (a/g)	7,763	7,897	7,436
単位あたりコスト (f/g)	7,841	7,968	7,504

実施状況に対する評価	<p>区ホームページや毎月1回広報かつしかに掲載しているほか、悩みごと相談や法律相談については、女性に対する暴力相談とともに区発行のリーフレットに相談窓口を掲載するなど広く周知し、相談中の保育も行っている。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う生活様式や働き方の変化、雇用の問題などもあることから、引き続き、相談者に寄り添い、支援を行っていく。</p>
今後の方向性【継続】	<p>毎年、一定数の相談件数があり、区民ニーズは高いものと考えられる。今後は、区民からの相談に対し、適切な支援が継続できるよう、より一層相談の質の向上等を図っていく必要がある。</p>

事務事業評価表

事務事業名	男女平等推進センター等維持管理					担当部	総務部		関係課	—	
						担当課	人権推進課				
開始年度	平成元年度					個別計画	—				
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	2(4)	等
事務事業目的	男女平等社会の推進に関する学習の機会及び交流と活動の場を区民に提供するため、施設を安全・快適に、かつ不便なく利用できるよう維持管理する。										
実施内容	<p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設のそれぞれの目的に添って活動する団体及び個人に対し、活動と交流の場を提供する。 ・施設利用者が安全・快適に不便なく使用できるよう施設管理を行う。 <p>【活動内容】</p> <p>[開館時間] 月～土曜日・・・午前9時～午後9時30分 日曜・祝日・・・午前9時～午後5時30分</p> <p>[休館日] 年末年始・全館メンテナンス日</p> <p>[貸室] 多目的ホール 302.2㎡ 208人 視聴覚室 123.8㎡ 54人 学習室 69.5㎡ 30人 調理実習室 60.2㎡ 30人 洋室A 102.9㎡ 54人 洋室B 49.1㎡ 24人 洋室C 49.1㎡ 24人 洋室D 95.0㎡ 50人 和室 24畳 30人</p> <p>[新型コロナウイルス感染症拡大防止策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から6月まで、全館利用休止や時間帯による利用制限を行った。その後も、状況に応じて閉館時間を短縮した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのキャンセルについては、全額還付した。 ・コーラス、カラオケ、調理、対面・至近距離・共用物品を使用する交流や活動の利用を制限した。 ・定員を各室収容人数の1/2以下及び上限100人に制限した。 ・1階ラウンジ、2階ラウンジ、3階EVホール、3階ワーク室の机と椅子を撤去した。 <p>【改善実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○11月9日から11月25日まで視聴覚室の壁と床張り替え修繕を実施。 ○11月26日から12月10日まで和室の障子張り替え修繕を実施。 ○12月11日から12月28日まで洋室Aの壁と床張り替え修繕を実施。 ○2月10日から2月26日まで多目的ホールの床張り替え修繕を実施。 										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	貸室の稼働率	利用件数/利用可能件数×100	%	目標	50	50	50
				実績	42	44	31
活動	利用件数	—	件	目標	5,000	5,000	5,200
				実績	4,930	5,157	3,212
活動	利用者数	—	人	目標	90,000	90,000	90,000
				実績	89,774	88,097	47,517
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	4,592	4,383	2,762
	一般財源 (a)	73,250	59,059	60,655	
支出	直接事業費 (b)	73,497	59,097	60,457	
	職員人件費 (c)	4,345	4,345	1,950	
		業務量 (人)	0.55	0.55	0.25
	間接費 (d)	0	0	1,010	
	調整額 (e)	27,065	27,010	26,753	
	減価償却費	24,827	24,827	24,827	
	金利	1,688	1,688	1,688	
	退職給与引当	550	495	238	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	104,907	90,452	90,170	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	管理対象面積 (㎡)		
実績数値 (g)	4,554	4,554	4,554
単位あたり区単コスト (a/g)	16,085	12,969	13,319
単位あたりコスト (f/g)	23,036	19,862	19,800

実施状況に対する評価	<p>年度当初から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため夜間等の利用制限を行ったことで、利用件数は大幅に減少した。特に、調理室の利用は年間を通して制限したためほぼ利用できなかった。その他の会議室も定員や利用目的による制限をしたことから前年比50%前後の利用率だった。一方、改修済みで定員が比較的多い洋室Dは3密を避けるため利用件数が増加した。</p> <p>また、4か所の部屋で床や壁等の張替え修繕を行ったことで、快適な利用につながった。</p>
今後の方向性【継続】	<p>引き続き、東京都の措置に沿った施設の利用制限に加え、アルコール消毒液の設置や、換気といった感染症対策を行い、区民の方が安心して利用できる環境を維持していく。</p> <p>また、男女平等推進センター自体の認知度を上げ、先行予約が可能な従来の目的内の団体利用を妨げない範囲で、目的外利用の周知を行い、稼働率を上げていきたい。</p>

事務事業評価表

事務事業名	パルフェスタ					担当部	総務部	関係課	—	
						担当課	人権推進課			
開始年度	平成2年度					個別計画	葛飾区男女平等推進計画（第5次）			
根拠法令	葛飾区男女平等推進センター条例									
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	10	説明等	1(6)
事務事業目的	施設登録団体の活動発表と区主催事業を実施し、広く区民に男女平等推進センターを周知するとともに、男女平等・男女共同参画について考える機会を提供する。									
実施内容	<p>【概要】 日頃から男女平等推進センターを拠点として活動している団体活動の成果発表及び、男女平等推進センターのより一層のPRを目的として毎年、3月初旬に開催している。実施・運営は、パルフェスタ実行委員会を組織し、団体と葛飾区の共催にて実施する。</p> <p>【活動内容等】（令和2年度実施） 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ウィメンズパル1階エントランスにて展示を行った。 展示期間 令和3年3月6日（土）～3月17日（水）の12日間（土・日含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 人権・男女平等にかかる啓発資料の展示・配布 ② 団体の活動紹介の展示 ③ 今までの歴代のパルフェスタのポスターの掲示 ④ 国際女性デーに関する展示・ミモザツリーの装飾 ⑤ リサイクル図書無料配布 期間中の平日のみ 広報かつしか、区ホームページ、ポスター、FMかつしか等、さまざまな媒体により周知を行った。									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	参加団体の満足度	参加団体アンケート	%	目標	90	90	90
				実績	94	—	94
活動	パルフェスタ来場者数	—	人	目標	1,200	1,200	1,200
				実績	1,238	—	570
活動	協働団体数	—	団体	目標	35	35	35
				実績	36	—	16
活動	パルフェスタアンケートによる初来場者の割合	—	%	目標	30	30	30
				実績	34	—	30
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	0	0	0
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源 (a)	2,665	2,138	1,997	
支出	直接事業費 (b)	1,179	639	436	
	職員人件費 (c)	1,185	1,185	1,170	
		業務量（人）	0.15	0.15	0.15
	間接費 (d)	301	314	391	
	調整額 (e)	150	135	143	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	150	135	143	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	2,815	2,273	2,140	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	パルフェスタ来場者数（人）		
実績数値 (g)	1,238	—	570
単位あたり区単コスト (a/g)	2,153	—	3,504
単位あたりコスト (f/g)	2,274	—	3,754

実施状況に対する評価	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実行委員会にて協議を重ねた結果、飲食や販売、舞台発表などを行う従来のパルフェスタではなく、団体活動の紹介を展示することとした。この展示において、団体活動の紹介の展示物をA3サイズに統一したことで、全体として統一され、展示が見やすくなった。</p> <p>また、展示期間を12日間としたことで、会議室利用者や図書資料室利用者など多くの利用者に見てもらえることができた。アンケートでは、97%以上の方が展示がよかったとの回答があったことから、団体活動の紹介や国際女性デーについて考えてもらうきっかけを作ることができた。</p>
今後の方向性【継続】	<p>パルフェスタは男女平等推進センターを広く区民に知っていただくための重要な機会となっている。今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、実行委員会との協働により、幅広い年齢層が楽しめるイベントの実施を検討し、参加団体がより参加しやすい企画となるよう努めるとともに、区民に参加団体の活動の魅力や男女平等・男女共同参画の意義が伝わるよう引き続き周知を行っていく。</p>

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
人権・男女平等啓発情報発信事業				総務部		—	収入	特定財源	243	247	3,379	全戸配布啓発紙	部	243,950	248,000	250,000
				人権推進課				一般財源	3,314	3,672	546					
一般	2	1	10	1(4)			事業費	3,061	3,419	3,404						
【概要】 区民一人一人の人権が尊重される社会を実現するために、区民や関係機関の認識と理解を深めることを目的とした人権啓発紙や事業所向け啓発誌等を発行する。 【活動内容】 ①人権（男女平等・同和・その他）啓発紙「こんにちは人権」年1回（11月）全戸配布 250,000部 ②男女共同参画スケジュールノート 年1回発行 1,500部 パルフェスタ、男女平等推進センター窓口で配布						支出	人件費	395	395	390	男女の共同参画が進んでいると思う区民の割合	%	40.4	41.5	33.6	
							業務量(人)	0.05	0.05	0.05						
							間接費	101	105	131						
							調整額	50	45	48						
							トータルコスト(a)	3,607	3,964	3,973						
							日常生活の中で差別があると感じていない区民の割合					%	64.7	68.8	60.2	
							単位当たりコスト(円) (a/b)	15	16	16						

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
男女平等推進審議会等運営				総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	男女平等推進審議会の開催回数	回	1	3	5
				人権推進課				一般財源	2,187	2,450	3,368					
一般	2	1	10	1(8)		支出	事業費	212	475	638	男女平等苦情調整委員会開催回数	回	0	—	—	
「男女平等推進審議会」は「男女平等推進計画」の策定及び推進を審議し、「男女平等苦情調整委員会」は「男女平等社会の推進を阻害する事項」に関し、区民の方から申立てのあった苦情を適正に処理するため、「葛飾区男女平等推進条例」に基づき設置されている。							人件費	1,975	1,975	2,730						
						業務量(人)	0.25	0.25	0.35							
						間接費	0	0	0							
						調整額	250	225	333							
						トータルコスト(a)	2,437	2,675	3,701							
						単位当たりコスト(円)(a/b)	2,437,000	891,667	740,100							

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容													
男女平等推進センター図書 資料室運営	総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	蔵書数	冊	13,244	13,271	13,273
	人権推進課				一般財源	3,156	3,261	3,906					
一般	2	1	10		事業費	645	645	653					
【概要】 女性問題及び男女平等に関する図書、雑誌、資料等の収集、整理、貸出し 【活動内容】 ・区立図書館とのオンラインにより、相互貸借を行う。 [場所] ウィメンズパル2階 [登録要件] 学生証・運転免許証・健康保険証など住所が確認できるものを持参し、利用カードを作成する。 [開室時間] 月～金曜日 午前9時～午後5時 [休室日] 土・日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間 [主な蔵書の分類] 図書館の書籍分類に準じて整理。家庭、男女同権、妊娠、出産、育児、白書、統計。				支出	人件費	0	0	0	図書貸出数	冊	6,626	6,482	5,671
					業務量(人)	0.00	0.00	0.00					
					間接費	2,511	2,616	3,253					
					調整額	0	0	0					
				トータルコスト (a)	3,156	3,261	3,906						
				単位当たり コスト(円) (a/b)	238	246	294	—	—	—	—	—	

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
部落解放同盟東京都連合会 葛飾支部助成				総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	助成件数	件	1	1	1
				人権推進課				一般財源	1,022	1,022	1,003					
一般	2	1	1	10(3)		支出	事業費	232	232	223	—	—	—	—	—	
葛飾区補助金等交付規則の定め及び補助金等審議会答申に従い、団体からの助成金交付申請書の内容審査、交付通知を行った上で、補助金を交付する。事業完了後、団体からの事業報告について、助成目的・内容に沿って適正に執行されたものであるかを審査し、助成額を確定して、団体に通知する。 ①行動費助成 人権・同和問題に関する大会・集会への参加費、交通費等 ②啓発費助成 人権・同和問題に関する図書・雑誌購入、学習・研修会等 ③通信費助成 資料郵送にかかる郵便料金等							人件費	790	790	780						
												トータルコスト (a)	業務量(人)	0.10	0.10	0.10
間接費	0	0	0													
						単位当たり コスト(円) (a/b)	調整額	100	90	95	—	—	—	—		
							1,122	1,112	1,098							
							1,122,000	1,112,000	1,098,000							

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容													
女性相談	福祉部 東生活課		西生活課	収入	特定財源	49	49	730	相談延べ件数	件	905	1,034	1,511
—	—	—	—	一般財源	11,801	11,801	17,320						
【活動内容】 問題や悩みを抱える女性からの相談を、面接又は電話により受付ける。相談に対し、適切な助言・情報提供を行い、各課題に援助が的確に実施されるよう、関係機関との連絡・調整役を担う。 【相談体制】 西・東生活課に婦人相談員を配置し、相談を受けている。				事業費	0	0	0						
				支出	人件費	11,850	11,850	18,050					
					業務量(人)	1.50	1.50	2.50					
					間接費	0	0	0					
				調整額	1,500	1,350	1,900	相談実人数	人	653	755	949	
トータルコスト (a)	13,350	13,200	19,950										
				緊急一時保護利用件数	件	58	74	69					
				単位当たり コスト(円) (a/b)	14,751	12,766	13,203						

施策 番号	1602	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策 名	世界平和を願い、核兵器廃絶を望むようにします	非核平和に関心のある区民の割合	%	目標	76.0	76.0	76.5
				実績	76.0	72.1	69.6
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
		葛飾原爆被爆者の会助成	総務課	○	1040
		非核平和都市宣言関連事業	総務課	○	1041

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）					
				担当課			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）																
事業内容																
葛飾原爆被爆者の会助成				総務部		—	収入	特定財源	0	0	0	訪問や電話による相談活動件数	件	136	111	73
				総務課				一般財源	1,026	916	469					
一般	2	1	1	9(1)		支出	事業費	947	837	391	自主事業（パネル展等）の実施日数	日	5	5	4	
							人件費	79	79	78						
							業務量(人)	0.01	0.01	0.01						
							間接費	0	0	0						
							調整額	10	9	10						
							トータルコスト(a)	1,036	925	479						
葛飾原爆被爆者の会の非核平和関連事業に対し、1/2を限度額として、予算の定める範囲（1,200,000円）で交付。（慶弔費、分担金を除く）																
							単位当たりコスト(円) (a/b)	7,618	8,333	6,555						

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）							
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2				
事業内容														
非核平和都市宣言関連事業	総務部 総務課		—	収入	特定財源	0	0	0	アンケート回収数(被爆 体験講話会・原爆資料 展)	枚	300	331	41	
一般	2	1	1	一般財源	5,060	3,944	3,287							
1(3)				支出	事業費	1,900	784	167						
唯一の被爆国の自治体として、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を求めていくことを宣言した「葛飾区非核平和都市宣言」に則り、各種非核平和事業を行う。 ①非核平和祈念のつどいをテクノプラザかつしかにて開催(例年8月1日)。議員や連合町会長を招待する他、会場付近の保育園や高齢者クラブにも協力を仰いでいる。平成17年度から、区内小中学校に千羽鶴の作製を依頼、本つどいで献架等に活用する。 ②原爆写真ポスター展(7月中旬～8月中旬) ③折鶴コーナー設置(7月中旬) ④広島及び長崎平和祈念式典等への職員派遣				人件費	3,160	3,160	3,120							
				業務量(人)	0.40	0.40	0.40							
				間接費	0	0	0							
				調整額	400	360	380	—	—	—	—	—		
				トータルコスト(a)	5,460	4,304	3,667							
				単位当たりコスト(円)(a/b)	18,200	13,003	89,439	—	—	—	—	—		

施策番号	1603	成果指標					
		指標名	単位	区分	H30	R1	R2
施策名	すべての人にとって使いやすいデザインやしくみが随所に取り入れられるようにします	ユニバーサルデザインが普及していると思う区民の割合	%	目標	23.0	15.6	18.0
				実績	15.3	18.0	16.9
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
		—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

		事務事業	担当課	区分	頁
	計画	公共サイン再構築事業	政策企画課	◎	1043
	計画	歩道勾配改善事業	道路補修課	◎	1045
	計画	バリアフリー事業	調整課	○	1047
		民間建築物バリアフリー化整備費助成	福祉管理課	○	1048
		バリアフリー法審査認定事務	建築課	○	1049

※「計画」は、後期実施計画に位置付けている事務事業であることを表します。

※「◎」は、事務事業評価表を作成した事務事業であることを表します。

※「○」は、事務事業一覧表を作成した事務事業であることを表します。

事務事業評価表

事務事業名	公共サイン再構築事業						担当部	政策経営部	関係課	—	
							担当課	政策企画課			
開始年度	平成27年度						個別計画	葛飾区公共サインガイドライン、 葛飾区公共サイン整備計画			
根拠法令	—										
予算説明書	会計	一般	款	2	項	1	目	7	説明等	1(2)	
事務事業目的	<p>既存サインの諸課題に対応し、公共サインに求められる新たな役割や機能に応えた、利用者にとって使いやすい公共サインを整備していくため、再構築を図る。</p>										
実施内容	<p>各種調査の実施による現状分析から課題等を整理し、利用者にとって必要な情報や機能等を備えた持続可能な公共サインとして再構築を行う。 平成27年度では、公共サイン整備計画の策定、堀切地区（堀切菖蒲園駅南側）モデル整備を実施し、その内容を庁内検討会及び同幹事会にて検討・確認した。 平成28年度以降は、整備計画に基づき、エリアごとに整備を行った。</p> <p>〈整備実績〉 平成28年度 青戸、亀有エリア 平成29年度 お花茶屋、四つ木、奥戸エリア 平成30年度 堀切（堀切菖蒲園駅北側）、高砂・柴又、水元エリア 令和元年度 立石、金町、新小岩エリア その他（堀切菖蒲園駅南側） 令和2年度 新小岩エリア増設</p>										

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	公共サインの整備率	(整備済みエリア数/整備予定エリア数【計12エリア】) × 100	%	目標	75	100	100
				実績	75	100	100
活動	公共サイン再構築地区数	—	地区	目標	3	3	—
				実績	3	3	—
活動	会議開催回数	公共サイン再構築推進委員会、幹事会	回	目標	—	—	—
				実績	2	2	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳（千円）		H30	R1	R2	
収入	特定 財源	国庫支出金	2,016	0	0
		都道府県支出金	37,613	29,165	0
		その他	30,210	12,384	0
	一般財源 (a)	67,297	64,581	5,411	
支出	直接事業費 (b)	134,371	104,708	4,241	
	職員人件費 (c)	2,765	1,422	1,170	
		業務量（人）	0.35	0.18	0.15
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	350	162	143	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	350	162	143	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	137,486	106,292	5,554	

単位当たりコスト（円）	H30	R1	R2
単位の定義	公共サイン再構築地区数（地区）		
実績数値 (g)	3	3	—
単位あたり区単コスト (a/g)	22,432,333	21,527,000	—
単位あたりコスト (f/g)	45,828,667	35,430,667	—

実施状況に対する評価	<p>平成27年度のモデル整備以降、公共サイン整備計画に沿って計画どおり整備を進め、令和元年度に再構築整備が完了した。（駅前改修などに合わせ更新していないものが一部存在している。）</p> <p>令和2年度は新小岩地区において、新小岩駅北口駅広場改修に合わせ、地点名標識・記名サイン等を増設し、より効果的に利用者にとって使いやすい公共サインになるよう整備を行った。</p> <p>今回のケースのように、整備完了後、利用者からの要望がくることが想定される中、真に必要な情報を精査し、より使いやすいサイン整備を行っていく必要がある。</p>
今後の方向性【改善】	<p>再構築が完了し、利用者からさらなる要望がきている中で、今後はサインの表示方法や表示内容など、再検証するため、ガイドラインや整備計画を改定し、利用者にとって使いやすいものを整備していく。</p>

事務事業評価表

事務事業名	歩道勾配改善事業					担当部	都市整備部	関係課	—	
						担当課	道路補修課			
開始年度	平成12年度					個別計画	—			
根拠法令	道路法、東京都福祉のまちづくり条例、 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）									
予算説明書	会計	一般	款	7	項	3	目	3	説明等	3(2)
事務事業目的	高齢者の方、車いすやベビーカーを利用する方等、誰もが快適に移動できる道路環境を整備する。									
実施内容	<p>高齢者の方、車いすやベビーカーを利用する方等の通行者の多い駅周辺道路や幹線道路を対象に、歩道の段差や勾配等を改善し、誰もが安全で快適に通行できる道路環境を整備する。 既設歩道のマウントアップ形式をセミフラット形式に改修することにより、歩道の勾配を横断方向で1%、縦断方向で5%以下とし、歩道の平坦性の向上を図る。</p>									

指標		指標の根拠	単位	区分	H30	R1	R2
成果	歩道勾配の改善率	累計整備延長／計画延長	%	目標	76	77	79
				実績	76	77	79
活動	歩道勾配改善工事整備延長	—	m	目標	200	200	390
				実績	150	210	380
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—
—	—	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	—	—

コスト内訳 (千円)			H30	R1	R2
収入	特定 財源	国庫支出金	6,500	1,700	4,000
		都道府県支出金	0	0	0
		その他	21,000	35,000	108,000
	一般財源 (a)	26,570	43,160	53,146	
支出	直接事業費 (b)	50,120	76,700	157,736	
	職員人件費 (c)	3,950	3,160	7,410	
		業務量 (人)	0.50	0.40	0.95
	間接費 (d)	0	0	0	
	調整額 (e)	500	360	903	
	減価償却費	0	0	0	
	金利	0	0	0	
	退職給与引当	500	360	903	
	(控) コスト対象外	0	0	0	
	トータルコスト (f=b+c+d+e)	54,570	80,220	166,049	

単位当たりコスト (円)	H30	R1	R2
単位の定義	整備延長 (m)		
実績数値 (g)	150	210	380
単位あたり区単コスト (a/g)	177,133	205,524	139,858
単位あたりコスト (f/g)	363,800	382,000	436,971

実施状況に対する評価	<p>現在(令和2年度末)、計画延長約20.5kmのうち、16.2kmが完了しており、進捗率は約79%となっている。</p> <p>昨今の施工時における交通確保(歩行者、車両等を含む)や近隣の生活環境により、工事の施工規模が縮小傾向にある。</p>
今後の方向性【継続】	<p>今後とも、高齢者の方、車いすやベビーカーを利用する方等、誰もが快適に移動できる道路環境を整備は必要であると考えており、引き続き、事業を着実に進めていきたい。</p> <p>近年、安全で快適な自転車空間の確保が求められており、自転車の走行環境に配慮した整備(スリット側溝等)も進めている。</p>

事務事業一覧表

事務事業名				担当部		関係課	コスト内訳等（千円）				活動指標（b）				
				担当課											
予算説明書（会計、款、項、目、説明等）															
事業内容															
						H30	R1	R2							
										単位	H30	R1	R2		
バリアフリー事業				都市整備部		福祉管理課、新小岩街づくり担当課	収入	特定財源	55,000	3,500	0	バリアフリー事業達成率（累計53箇所）			
				調整課				一般財源	56,580	5,080	1,560	%	81	81	85
一般	7	2	1	1 (2) の一部		支出	事業費	110,000	7,000	0	＜新小岩駅圏＞ 南北自由通路整備				
<p>高齢者、障害のある方等の移動や施設利用の利便性や安全性向上を促進するため、バリアフリー基本構想で設定した重点整備地区（金町駅圏、京成立石駅圏、新小岩駅圏）のバリアフリー化を進めます。また、その他駅圏の重点整備地区の設定など、バリアフリー基本構想の改定について検討します。</p> <p>ホームドア整備については、東京都や鉄道事業者等との協議を踏まえて、経費の助成を検討します。</p> <p>※ホームドア、内方線付き点状ブロックの整備費助成事業以外の事業費については、「新小岩駅周辺開発整備事業」で計上している。</p>							人件費	1,580	1,580	1,560	—	工事	工事	—	
						業務量(人)	0.20	0.20	0.20	＜新小岩駅圏＞ 北口・南口駅前広場整備					
						間接費	0	0	0	—	設計	工事	工事		
						調整額	200	180	190	ホームドア整備経費助成					
						トータルコスト (a)	111,780	8,760	1,750	—	新小岩駅 快速線	—	—		
						単位当たりコスト(円) (a/b)	—	—	—	—	—	1 駅	—		

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容													
民間建築物バリアフリー化 整備費助成	福祉部		—	収入	特定財源	1,500	0	0	実績件数	件	1	0	0
	福祉管理課				一般財源	2,290	790	780					
一般	4	1	1		事業費	3,000	0	0					
1(2)				支出	人件費	790	790	780	相談件数	件	4	4	3
施設のバリアフリー整備について、整備改善に要する費用の1/2（限度額300万円）を助成する。 ＜助成対象範囲＞ 「東京都福祉のまちづくり条例施行規則」に規定する一般都市施設 ＜対象経費＞ 東京都福祉のまちづくり条例施行規則の規定に適合する整備に要する経費。（例）敷地内通路の段差解消、出入口・廊下などのスロープや手すりの設置、障害者対応型トイレの設置など					業務量(人)	0.10	0.10	0.10					
								間接費	0	0	0		
					調整額	100	90	95					
				トータルコスト (a)	3,890	880	875						
				単位当たり コスト(円) (a/b)	3,890,000	—	—						

事務事業一覧表

事務事業名	担当部 担当課		関係課	コスト内訳等（千円）			活動指標（b）						
	予算説明書（会計、款、項、目、説明等）			H30	R1	R2	単位	H30	R1	R2			
事業内容					H30	R1	R2						
バリアフリー法審査認定事務	都市整備部		—	収入	特定財源	0	0	0	申請件数	件	3	2	1
	建築課				一般財源	1,580	1,975	1,950					
—	—	—	—		事業費	0	0	0					
特定建築物（老人ホームや病院、劇場等多数の人が利用する建築物）における特定施設（入口、廊下、階段、昇降機、便所等の施設）が、バリアフリー対応基準に適合しているかを審査し、認定する。				支出	人件費	1,580	1,975	1,950	—	—	—	—	—
					業務量(人)	0.20	0.25	0.25					
				間接費	0	0	0						
				調整額	200	225	238						
				トータルコスト(a)	1,780	2,200	2,188						
				単位当たりコスト(円) (a/b)	593,333	1,100,000	2,187,500						